









Neo Finance Company in Asia



株主の皆様へ

当社は「サービス先端企業」を経営理念に、顧客の利便性を徹底的に追求し、系列や 業態などの枠組みを超えた多様な提携パートナーとともに革新的なサービスを創造 し続けております。いつの時代においても、当社が先端サービスを創出する源泉として きたのは、性別・学歴・年齢などにより区別されることなく社員が平等かつ自由に個性を 発揮し、常に挑戦を続ける企業風土であり、持続的成長を遂げていくための根幹を成す ものとして受け継いでまいりました。

第69期中間期(2018年4月1日~9月30日)決算につきましては、2018年7月より「三井ショッピングパーク カード《セゾン》」において「三井ショッピングパークアプリ」を使ったQRコード決済サービス「アプリde支払い」を 開始することで決済プラットフォームを拡充いたしました。また、永久不滅ポイントを使った「ポイント運用サービス」 を通じて気軽に投資を体験していただくことで、若年や女性など幅広い層の金融商品に対する興味と関心を喚起し、 金融市場全体の健全な発展への寄与を目指してまいりました。これまでも「アクティブ」「バランス」「日本株 (TOPIX)]「アメリカ株(VOO)」の4つのコースと「つみたて機能」による長期投資体験を提供してまいりましたが、 2018年9月より、永久不滅ポイントを実在する企業の株価と連動させることで投資体験ができるサービス「株式 コース」を開始いたしました。

さらに、リース・信用保証・フラット35・資産形成ローン・家賃保証サービスなどのファイナンス商品の推進を通じ てカードビジネスに依存しない収益力の多角化に挑戦するとともに、アジアを中心としたグローバル事業を将来の 収益基盤の柱として位置づけ、ベトナム・シンガポールなど現地企業との戦略的パートナーシップにより、リテール 金融ビジネスの拡大に取り組みました。

これらの結果、当中間期における業績は、連結営業収益1.502億円(前年同期比3.3%増)、連結経常利益268億円 (同25.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益184億円(同42.4%減)となりました。

長年の経営課題であった共同基幹システムも今年度中に安定稼動を予定しており、コスト負担増加を打ち返すべく、 新たなカードサービスの開発や新規提携企業の拡大などキャッシュレス化を促進することで成長力のあるカード ビジネスへと変革してまいります。

経営環境は第4次産業革命といわれるデジタル革命が急速にマーケットに影響を及ぼすことになります。当社を 取り巻く経営環境も大きく変化しておりますが、社員一人ひとりが自立した意思とリスクを恐れないチャレンジ精神 を持ち、個人・チームが斬新かつ飛躍的な発想で新たな富を創造してまいります。時代の変化を楽しみながらイノ ベーションを次々と巻き起こし、経営ビジョンに掲げる「Neo Finance Company in Asia」を実現させ、ビジネス モデルを革新させてまいります。これからも、あらゆる個人・法人の課題を解決するソリューションを多様化し、「利他 主義」の精神をもってビジネスを拡大させていくと同時に、ダイバーシティ&インクルージョンの推進と1980年代 から実践してきたESG経営を、社会を構成する組織の一員としてさらに発展させるとともに、お客様・お取引先・社員 の「幸福」を具体化することによって当社の企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、セゾンカードとUCカードのご利用とともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしく お願い申しあげます。

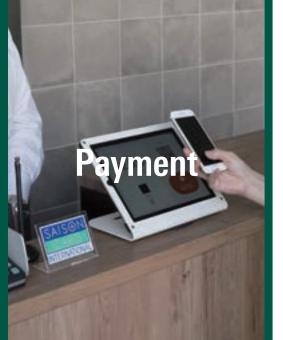
> 2018年12月 代表取締役社長

林野 宏

photo by Motovuki Ishibashi

中期経営ビジョン「Neo Finance Company in Asia」

当社は「サービス先端企業」として顧客ニーズに対して最適なソリューションを提供し続けることによって、永続的に成長できる 企業に生まれ変わります。危機感を持ち、今までの延長線上ではなく、イノベーションにより既存のビジネスモデルを変えることで、 競争力を確保し、「アジアにおいて他にない新たなファイナンスカンパニー」に挑戦します。





決済サービスの多様化による キャッシュレスの推進

「三井ショッピングパークカード《セゾン》」や 「セゾン・アメリカン・エキスプレス®・カード」の 中でも特に高稼動・高単価が見込まれるプラ チナカード・ゴールドカードなどの会員募集の 推進、ビジネスをサポートする法人・個人事業主 向けカードの会員募集を強化した結果、カード 総会員数は、2,685万人(前期末比0.3%減)と なりました。また、「Apple Pay」の登録・利用 施策の強化、(株) Origamiと協業したQRコード によるスマートフォン決済サービス [セゾン Origami Pay」「UC Origami Pay」の利用 促進、2018年4月「ココカラクラブカード」 「パルコプリカ」のゆうちょATMでのチャージ 取り扱い開始によるプリペイドカードの利便性 向上、そして、2018年7月「三井ショッピング パークカード《セゾン》」における「三井ショッ ピングパークアプリ」を使ったQRコード決済 サービス[アプリde支払い]を開始するなど、 キャッシュレス化に向けた取り組みをいっそう 強化いたしました。その結果、ショッピング全体 の取扱高は2兆3.434億円(前年同期比1.7% 増)となりました。









マーケットニーズに即した ファイナンス機能の提供

リース&レンタル

事業者の設備投資計画にあわせてOA通信機器 やLED照明などを中心に「ファイナンスリース」 「事業用割賦」「レンタル」を提供しております。 強みである審査ノウハウと与信スピードを最大限 に活かしながら、既存の主力販売店との共同 キャンペーン実施などによる信頼関係強化や、 新規重点販売店への営業強化に取り組んだ結果、 債権残高は3,034億円(前期末比1,7%増)と なりました。今後は、キャッシュレス決済の拡大を 踏まえPOSレジ周辺市場などビジネストレンドへ の対応や、新規収益の創造に挑戦してまいります。

信用保証

個人向け証書貸付型フリーローンの保証事業を 中心に、提携金融機関と営業・管理両面にわたり 密接な連携を行い、商品勉強会の実施をはじめ、 個人ローンの推進に向けたきめ細かな連携体制 の構築に努めております。事業資金にも広げた 「資金使途の汎用性」、WEB上で完結できる 「手続きの簡便性」、および「審査回答の迅速性」 を兼ね備えたローン商品を通じて、地域金融機関 とのきめ細かな連携体制の構築に努め、提携金融 機関405先(前年同期差2先増)、保証残高3,438 億円(前期末比0.4%増)と拡大しております。

「フラット35」では、住宅購入時の諸費用の資金 ニーズに対応する「セゾンのホームアシストローン」 を含めた「住宅ローンパッケージ」として住宅購入 をサポートしております。スピーディな審査や、 ニーズに応じた柔軟な対応、カード事業で培った 安心感が評価され、住宅金融支援機構への債権 譲渡済残高は6,745億円(前期末比13.7%増) となりました。また、「セゾンの資産形成ローン」は マーケットニーズに応じた商品性のカスタマイズや 勉強会を通じた提携先との連携強化により、貸出 残高4,171億円(前期末比22,1%増)となりました。 また、「セゾンの家賃保証Rent Quick」の取り扱い を通じて、賃貸から購入までをカバーする生活 創造金融サービスの拡充に取り組んでおります。



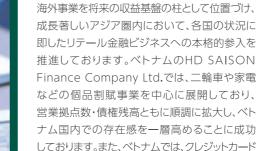
Neo Finance Company in Asia

Creating New Value Through Innovation.



多様なソリューションで解決

いたしました。



アジアにおける事業展開を加速

事業の新規立ち上げのための本格的な準備を

進めており、現地における圧倒的No.1の総合

リテールファイナンスカンパニーの実現を目指

してまいります。東南アジアの配車サービス

最大手Grab Holdings Inc.と資本業務提携の

うえ設立したGrab Financial Services Asia

Inc.では、東南アジア各国におけるスマートフォン

を活用したデジタルレンディング事業の開始に

向け準備を進めております。

法人が抱える課題を

クラウド型経費精算ソリューション「SAP Concur」を提供する(株)コンカー等と営業 連携し、当社コーポレートカードと組み合わせ た経費精算業務の大幅な省力化、また、個人 事業主の事業費決済ニーズに対応するビジ ネスカード [セゾンプラチナ・ビジネス・アメリ カン・エキスプレス®・カード」の拡販、そして、 導入企業の従業員の方が支給日を待たず給与 を受け取れる「Advanced pay SAISON」の 提供先企業拡大など、企業規模・ニーズに応じた 最適なソリューションを提供することで、法人 決済領域のキャッシュレス化とバックオフィス 業務の効率化に取り組みました。結果、法人 向けカードの取扱高は前年同期比13%伸長





テクノロジーを活用した 新たなビジネスを創造

デジタルデバイス、顧客データを駆使したビジネス 創造の基盤となるネット会員の増強に努め、 新規ビジネスのネット会員は1,542万人(前期 末比2.7%増)、スマートフォン用アプリ「セゾン Portal] [UC Portal] のアプリ会員は471万 (前期末比18.3%増)となりました。これらの 会員基盤を活用し、顧客属性やカード利用 履歴・WEB上での行動履歴などセゾンDMPが 保有するビッグデータと外部企業データとの 連携によるカード会員に対する最適な情報 配信、そして、法人向けマーケティングソリュー ションの提供など、ビッグデータを活用した 広告・マーケティング事業の創造に取り組んで おります。



永久不滅ポイントで投資体験の提供

永久不滅ポイントを使った[ポイント運用サー ビス」では、「アクティブ」「バランス」「日本株 (TOPIX)」「アメリカ株 (VOO)」の4つのコース と「つみたて機能」による長期投資体験、ロボット アドバイザーによる投資計画シミュレーション への連携に加え、2018年9月には実在する企業 の株式への投資体験ができる「株式コース」の 提供を開始しました。サービスの拡充とサイト の利便性向上により、現在ではポイント運用 サービスの利用者は約30万人、運用金額は 約11億円を超え、投資入門のサービスとして 成長しております。また、関係会社であるセゾン 投信(株)とマネックス・セゾン・バンガード投資 顧問(株)とともに、お客様一人ひとりにマッチ した資産形成・資産運用をサポートすることで、 お金との付き合い方がより多様で豊かな世界 を目指してまいります。



当社ならではの社会貢献の実践

2018年7月に発生した两日本豪雨災害、9月 に発生した北海道胆振東部地震など、自然 災害で被害にあわれた方々へのご支援を、 永久不滅ポイントやクレジットカード決済を 通じて行っております。また、地方創生への 貢献を目指し、8月には公益財団法人浜松・ 浜名湖ツーリズムビューローと「観光資源の 開発および観光誘致に関する連携協定」の 締結を行うなど、全国各支社が地域に根ざした 独自の活動を推進しております。

赤城自然園運営による環境保存活動や スポーツ・文化活動のサポート、さらに各種 教育事業プログラムへの参画を通じ、次世代 を担う子どもたちの成長や金融知識の拡充を 支援し、激変する金融社会の持続的発展に 貢献しております。



社員の成長と 挑戦を支える組織づくり

全員が持てる力を最大限発揮し、充実感を 持ちながら活き活きと働く組織であり続ける ため、ダイバーシティ&インクルージョンの 推進に取り組んでおります。「全社員共通人事 制度」の導入により、社員の能力や可能性を さらに引き出すべく、新たな役割への挑戦 を後押しする仕掛けや社員の行動変容を促す 仕組み作りをいっそう進めております。役割 等級制度、柔軟な働き方を可能にする各種 制度(テレワーク、フレックス勤務など)の活用 拡大、各種研修の実施など、社員一人ひとり のキャリアを支えながら、より活躍できる環境 づくりに取り組んでおります。

FINANCIAL DATA

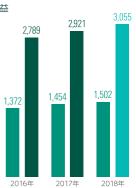
経営成績



(単位:億円、万人) 通期

383





カード取扱高(単体)



カード稼動会員数(単体)

経営利益

600

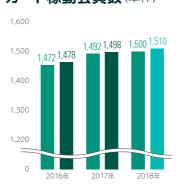
500

400

300

200

100



第69期中間期は、「サービス先端企業」という経営理念のもと 「Neo Finance Company in Asia」を中期経営ビジョンとして 掲げる中期経営計画の最終年度を迎え、先進的テクノロジーの 活用など「これまでの強み」に「新たな強み」を加え、FinTechに 代表される技術革新による「顧客の価値観の変化」や「既存ビジ ネスモデルの崩壊」に対応し続けるイノベーティブな企業への シフトに挑戦してまいりました。営業収益については、「クレジット サービス事業」、「ファイナンス事業」が全体を牽引した結果、 1,502億15百万円(前年同期比3.3%増)となりました。営業費用 については、カード取扱高拡大に伴う連動費用の増加や2017年 11月より稼動している共同基幹システムの減価償却費負担が 増加したことなどの影響により、1,301億54百万円(同9.1%増)と なりました。以上の結果、営業利益は200億60百万円(同23.1% 減)となりました。経常利益は、前年同期において持分法適用関連 会社が保有する投資有価証券の一部売却益計上の反動影響に より268億54百万円(同25.9%減)、親会社株主に帰属する四半 期純利益は、前年同期において当社が保有する投資有価証券の 売却益計上の反動影響により184億27百万円(同42.4%減)と なりました。

Supporting Company

いつまでも挑戦する想いを、 わたしたちは支え続けています。

わたしたちはサッカー日本代表とともに成長し続けていきたいという想いから、 2001年よりサポーティングカンパニーとして、サッカー日本代表を応援して います。また、2014年からはアジアサッカー連盟(AFC)とのスポンサーシッフ 契約により、近年のアジア地域において絶大な人気を誇るアジアサッカー界 も支援しております。日の丸を胸に、今日もサッカー日本代表が世界の舞台で チャレンジし続けるように。わたしたちもサービス先端企業として、さまざまな チャレンジを続けてまいります。



クレディセゾンは サッカー日本代表のサポーティングカンパニーです。

CORPORATE DATA

会社概要

(2018年9月30日現在)

商号 株式会社クレディセゾン Credit Saison Co., Ltd.

設 立 1951年5月1日 資本金 759億2,936万円

3,381名 他に嘱託、パート・アルバイトの期中平均雇用人員は646名(1日7.5時間換算) 従業員数

2017年9月16日の人事制度改定により、アルバイトを除く嘱託およびパートの雇用形態を従業員に変更しております。

本 社 〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60·52F

主要な事業内容 ●クレジットサービス事業〈クレジットカード事業およびサービサー(債権回収)事業等〉

❷リース事業〈リース事業〉

③ファイナンス事業〈信用保証事業およびファイナンス関連事業〉

4 不動産関連事業〈不動産事業および不動産賃貸事業等〉

⑤エンタテインメント事業〈アミューズメント事業等〉

ζД,	
ſŹ	

代表取締役会長	前川	輝之	常務取締役	三浦	義昭	取締役	林	郁(社外)
代表取締役社長	林野	宏	取締役	平瀬	和宏	取締役	富樫	直記(社外)
代表取締役副社長	髙橋	直樹	取締役	松田	昭博	取締役	大槻	奈那(社外)
専務取締役	山本	寬	取締役	馬場	信吾	常勤監査役	村上	喜堂(社外)
専務取締役	山下	昌宏	取締役	磯部	泰之	監査役	笠原	智恵(社外)
常務取締役	水野	克己	取締役	足利	駿二	監査役	稲田	和房
常務取締役	岡本	龍成						

株式の状況

(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数:300,000,000株 発行済株式の総数:185,444,772株 株主数:12,529名 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況			
	持株数(千株)	持株比率(%)		
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	26,552	16.25		
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	12,272	7.51		
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	8,473	5.19		
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	5,908	3.62		
HSBC BANK PLC A/C CLIENTS 1	4,725	2.89		
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	3,771	2.31		
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,555	2,18		
(株)みずほ銀行	3,000	1.84		
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	2,804	1.72		
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	2,547	1.56		

^{※1.} 当社は、自己株式22,033,992株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催 基準日

定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 特別□座の□座管理機関

株主名簿管理人事務取扱所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) (電話照会先) 20120-782-031(9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

(インターネットホームページURL) https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載) https://corporate.saisoncard.co.jp/

上場証券取引所 東京証券取引所

証券コード 8253

【株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について】証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。 【特別口座について】株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様は、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先にお願いいたします。



東京・東池袋 サンシャイン60の 52階に本社を置く株式会社 クレディセゾンおよび関係会社 全社員の中から選ばれた、49名 の女性メンバーによって結成 された「東池袋52」。シングル 5枚をリリースし、活動中!

Single 4曲収録 All Seasons Best「人生楽しい人の勝ち」



永久不滅ポイント 200pointで交換できます。

- ▶ 1st わたしセゾン
- ▶ 2nd なつセゾン
- ▶ 3rd あきセゾン ▶ 4th 雪セゾン





^{※2.} 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。